【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和7年5月20日(2025.5.20)

【国際公開番号】WO2024/062732
【出願番号】特願2024-548097(P2024-548097)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ 3/66(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ 3/66 A

【手続補正書】
【提出日】令和6年3月19日(2024.3.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
入力要素と、
出力要素と、
速度線図上において第１回転部位、第２回転部位、第３回転部位及び第４回転部位がこの順で並ぶ歯車装置と、
を備え、
前記入力要素は、前記第１回転部位に接続可能、かつ、前記第２回転部位に接続可能であり、
前記出力要素は、前記第３回転部位に接続され、
前記第４回転部位は、回転状態と非回転状態を切り替え可能であり、
前記歯車装置は、
第１回転要素、第２回転要素、第３回転要素を備え、速度線図上において前記第２回転要素が前記第１回転要素と前記第３回転要素の間に配置される第１遊星歯車機構と、
第４回転要素、第５回転要素、第６回転要素を備え、速度線図上において前記第５回転要素が前記第４回転要素と前記第６回転要素の間に配置される第２遊星歯車機構と、
を備え、
前記第１回転部位は、前記第６回転要素であるリングギヤで構成され、
前記第２回転部位は、前記第１回転要素であるサンギヤと前記第５回転要素であるキャリヤが結合されて構成され、
前記第３回転部位は、前記第２回転要素であるリングギヤで構成され、
前記第４回転部位は、前記第３回転要素であるキャリヤと前記第４回転要素であるサンギヤが結合されて構成され、
前記ユニットは、
第１係合要素と、
第２係合要素と、
第３係合要素と、
を備え、
前記第１係合要素の一方側は、前記入力要素に接続され、
前記第１係合要素の他方側は、前記第２回転部位に接続され、
前記第２係合要素の一方側は、前記入力要素に接続され、
前記第２係合要素の他方側は、前記第１回転部位に接続され、

前記第３係合要素の一方側は、前記第４回転部位に接続され、
前記第３係合要素の他方側は、固定される、
ユニット。
【請求項２】
請求項１に記載のユニットであって、
第１係合要素及び第２係合要素は、それぞれ前記歯車装置の軸方向外側に配置され、
第３係合要素は、前記歯車装置の径方向外側に配置される、
ユニット。
【請求項３】
請求項１に記載のユニットであって、
前記第１乃至第３係合要素のうち係合する２要素を変更することで三つの変速段を実現する、
ユニット。
【請求項４】
請求項１に記載のユニットであって、
前記第１係合要素の前記一方側と前記第２係合要素の前記一方側を一体部品で構成した、
ユニット。